看護研究　第45巻　第3号（通巻238号）　2012年6月15日発行（偶数月15日発行）　1998年10月30日　第3種郵便物認可　［ISSN 0022-8370 KANGO-KENKYU］

看護研究バックナンバー（内容紹介）

MAR APR Vol 45 No 02

特集｜研究の普及を支える基盤としての論文執筆

■研究の普及を支える基盤　前田樹海
■看護系論文の執筆スタイルの現状と展望
　看護研究の普及を支えるために研究者と研究指導者，看護系学会ができること　谷津裕子，中木高夫
■論文執筆マニュアルを研究にいかすために　主要な3つのマニュアルの比較からみえてくるもの　江藤裕之
■看護教育と看護実践において，臨床的な知識を発展させるには
　パトリシア・ベナー博士来日講演会（京都）より　Patricia Benner／通訳：早野 ZITO 真佐子

●特別記事
Margaret Newman によるニューマン・プラクシス方法論
実践的研究例：がん体験者と家族による「生活習慣立て直し対話の会」支援モデル開発
遠藤惠美子，髙木真理

●提言
Mixed Methods を用いた看護研究の提案　古川亮子

●連載
Words, words, words. ―学際的なダイアローグをめざして②
遍と個 universal vs. individual　江藤裕之
看護研究の基礎―意義ある研究のためのヒント・8　インタビューデータの収集　坂下玲子

JAN FEB Vol 45 No 01

特集｜研究者育成のための質保証におけるグローバルスタンダード

■研究者育成の質保証の現状と課題　牧本清子
■研究者育成の質保証に向けた日米の大学院教育の相違　大阪大学大学院保健学専攻における取り組み　牧本清子
■米国における研究者育成の質保証の現状と課題　ワシントン大学を中心に考える　近藤暁子
■英国の大学におけるリサーチスチューデント育成のためのサポートシステム　マンチェスター大学を例に　小松容子
■フィンランドにおける看護研究者育成の現状と課題　佐々木明子
■タイにおける看護研究者育成の質保証の現状と課題　山本あい子，岩國亜紀子
■JCEBP の活動からわが国の研究と研究者育成の質保証を考える
　伊藤美樹子，山川みやえ，心光世津子，竹内佐智恵

●新連載
Words，words，words. ―学際的なダイアローグをめざして①　学際的 interdisciplinary　江藤裕之

●特別記事
国際看護研究の魅力―タンザニアにおけるフィールドワークと米国大学院での経験③
これから国際看護研究を行なう研究者のために　教員・アドバイザーによる「覚書」
Crystal Patil, Kathleen Norr／翻訳・執筆：新福洋子

●原著論文
前腕の皮膚水分喪失量（TEWL）簡易計測パッチによる全身発汗量の推定
四十竹美千代，堀悦郎，八塚美樹，小野寺孝一，浜出絵理子，横井秀輔，小野武年，西条寿夫

●連載
看護研究の基礎―意義ある研究のためのヒント・7　アンケート（質問票）の設計　坂下玲子

NOV DEC Vol 44 No 07

焦点｜Good Nurse 研究にみる　東アジア国際共同研究の意義・方法論・成果

■東アジア Good Nurse 研究の船出と推進，成果　小西恵美子
■van Kaam の現象学的手法と Good Nurse 研究　八尋道子，Samantha M.C. Pang
■データをみる視点と Good Nurse 研究　蔡　小瑛
■Good Nurse 研究における質問紙開発と質問紙調査による国際比較　和泉成子
■Values for Ethical Nursing　Douglas P. Olsen
■翻訳　看護倫理のための価値　Douglas P. Olsen／訳：八尋道子，和泉成子
■Good Nurse 研究を振り返る　台湾チームから 周　雪静／訳：蔡　小瑛　日本チームから 田中真木

●特別記事
国際看護研究の魅力―タンザニアにおけるフィールドワークと米国大学院での経験②
持続的な国際共同研究を行なっていくために　新福洋子

●連載
看護研究の基礎―意義ある研究のためのヒント・6　対象の設定・サンプルサイズ　坂下玲子

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2012

定価1,890円（本体1,800円＋税5%）雑誌 02411-06
消費税変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。
4910024110622
01800